

# 平成 2 5 年 第 1 7 回 教 育 委 員 会 会 議 録

招 集 年 月 日	平成 2 5 年 1 0 月 3 日
招 集 場 所	役場 第 3 会 議 室
開 会	1 1 時 0 0 分 委 員 長 宣 告
出 席 委 員	井上教育委員長 立脇教育委員 福田教育委員 川上教育委員 内田教育長
欠 席 委 員	
教 育 長 の 報 告	報告事項特になし

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
聞き取り調査 文化センター	文化センター	<p>今年の終わった取り組みは、美術館・図書館と共催でNHKアニメのルルロロ原画展を美術館で行なった。文化センターの方では多目的ホールで子供達を集めた映画上映会などを行なった。もう1点は今年で4回目になる、フッペルピアノコンサートを開催した。日本に2台しかないといわれていたピアノが日南町の日野上小学校にもあったということで、話題になった。これは、文化センターのさつきホールのホワイエの方で保管している。フッペルピアノコンサート実行委員会を作ってコンサート開催に向けて取り組んだ。美術館が無言館という長野の美術館から、戦没画学生の絵を借りて展示をするのと合わせて、フッペル平和記念コンサートを行った。さつきホールで無言館館長の窪島さんの講演会と、山城裕子さんのピアノ演奏を行なった。今現在ピアノは、美術館で展示をしている。今後の予定としては、日曜日にブラسفオレストといって、県も跨いだ近隣の市町村の吹奏楽の団体を集めたコンサートを行なう予定で、今年で10回目になる。今年にはゲストを呼んだりして派手にやろうと企画している。全部で約10団体の吹奏楽のバンドが参加する。日南町内には一般の吹奏楽の楽団がないので、日南町内では日南中学校に来ていただくことにしている。11月には、文化センターのさつきホールの名誉館長でもある、北村英治さんとアロージャズオーケストラ楽団の皆さんと由紀さおりさんに来ていただいて、コンサートを開催する予定である。12月には、日南音楽祭響まつりというタイトルで、アマチュアバンド・アマチュア音楽家の祭典ということで、企画している。今年には15団体応募があって、広く音楽活動をしている人たちに日南町のさつきホールを知っていただくということも含めて、町内と町外半々ぐらいの出演になっている。</p>
	委 員 長	説明があったが、質問はあるか。
	委 員	社員はどのぐらい居るのか。
	文化センター	9人で、1人は非常勤でもう1人はバイトで来てもらっている。大体は9人でやっている。
	委 員	営業成績はどうか。
	文化センター	文化センターの委託料ではなかなかまかなえなくなっている。それに伴って、仕事を増やしていかないといけないということで、今現在、チャンネル日南や社会教育推進委員というのを雇って教育課の仕事もしている。あとは、町内外のイベントに出かけ、音響や照明、舞台づくりなど文化センターの管理以外の仕事も増やしていきながら会社を維持してい

	<p>委員</p> <p>文化センター</p> <p>委員長</p> <p>文化センター</p> <p>委員</p> <p>文化センター</p>	<p>る。</p> <p>はたから見ていて、町民はタダで近いような利用料でやっているが、大変なんだろうと思っている。もう少し要求されることはあっていいのではないか。</p> <p>ぎりぎりの人数で回していると、大きなイベントがあったときに人数が足りなくなってしまう。その時は、外部からお願いして来て頂いたりしている。第一に文化センターが日南町にとって必要な施設であることが一番だと思うので、そのところは常に考えている。まちづくりフォーラムなどについては、管理の委託を受けるときに年間の予定が決まっているので、その時にまとめてもらっている。</p> <p>由紀さおりのコンサートはチケット代が5000円となっているが、採算が成り立つのか。</p> <p>さつきホールが500人しか入らないので、黒字を出すような公演やほとんどんになるような公演というのは、ほとんど出来ない。1000人入ったらちょうど金額があうような値段設定になっている。町の方から約500万くらいの自主事業費というのが委託料の中に入っているので、それとチケット収入でやり繰りしている。</p> <p>他に困っていることはあるか。</p> <p>これから問題になってくるのが、建物の年数が経ってくるので、施設設備の改修ということが増えてくる。予算的なことも含めて心配である。また、町民の方が高齢であったり、イベントの集客数や施設利用者の減少などが今後心配である。イベントをするにあたって、集客数を増やすために話題性のあるイベントを極力開催しようと努力している。アンケートなどでも高い評価をして頂いている。</p>
<p>図書館</p>	<p>図書館</p>	<p>蔵書が6万1000冊ある。昨年11月に新しい図書館システムを導入し、利用者にどんなことが出来るのか周知していかないといけないとの認識から、図書館便りを使ったり、使い方を説明したリーフレットも新しくするなどして、利用者の方に宣伝をしている。24年度の半年で、自宅のパソコンや携帯電話から図書資料の検索をした人が、2万回程度だったのが、今年は25年度の半年で2倍になった。日南町の特色としては、農林業のコーナーを充実していかないといけないと思い、新たにステップアップ農林業コーナーを設けた。様々な人に利用していただくために、幅広い農林業に関する本を集めて置いている。図書館の本だけでなく、農林課が行っている研修会や相談会のチラシなども置いてPRしたところ、農林業研修生などがよく利用してくれている。24年度から民話伝承事業も行なっている。民話の詳しい方に話しを聞きに行ったり、イベントなどで話しをして頂いたりしている。</p>

	委員 長	説明があったが、質問があるか。
	委員	6万1000冊と言われたが、本の収納スペースというものはまだゆとりがあるのか。
	図書館	開架スペースと書庫スペースとをあわせても、ほぼ満杯の状態である。社会変化に応じて10年前の本など使えない本があるので、今後、順次除籍をしていく予定である。
	委員	登録している人は何人ぐらい居るのか。
	図書館	町内と町外併せて3,700人くらいいる。
	委員	図書館の本棚が足りないのではないか。
	図書館	図書館を新しく作る時に、書棚と書棚の間を車椅子が通るくらいの広さにするというので、割と広めに作っている。書棚も埋め込み式なので、簡単には動かせない状態である。
	委員 長	本の宅配というのをやっていると思うが、今年の1年間でどのくらいの利用があったのか。
	図書館	実際の申込みのあった人数は10人程度で、昨年度の利用数は少なかった。PRの方法も考えないといけないと思っている。
	委員 長	70歳という年齢制限があるが、それを外すことは出来ないか。いい試みだと思うので、もう少しPRをしていただきたい。
	委員	年配者の場合、読むことが困難になってくるので、読み聞かせるようなサービスなりシステムを考えたら、図書館の活動エリアを広げることに繋がると思う。
	図書館	障害者サービスとしての読み聞かせは行なっている。
	委員	読み聞かせをするような人のサークルや組織化は現在あるか。
	図書館	今年度、ちょうど子供向けの読み聞かせサークルが出来ている。今後は、高齢者施設などにも活動を広げていきたいと考えている。
美術館	美術館	年間、展覧会・企画を大体6・7本している。今は戦争の記憶展という一番のメインの展示会をしている。美術館の企画を考える上で考えることが、日南町の美術館であるので、ここでする意味のあるもの・意義のあるもの・ここでしか出来ないものということに必ず取り組むようにしている。例えば郷土作家の紹介・郷土資料の紹介というような展示になる。

日南町の美術館ではあるが、広くよそからも集客をすることで、町にこだわらず愛好家の好むような、色々な優れた美術品を紹介する展覧会にも取り組んでいる。それがいずれは町民の文化レベルを上げることに、繋がるのではないかという思いで、年間のスケジュールを組んで、企画を立てている。美術館単独でするよりは、文化センターや図書館との連携が常に出来るようにしている。町内だけでなく近隣の美術館との連携、鳥取県立博物館との巡回展・連携の企画展にも取り組んでいる。美術館の体制は今現在、館長と私の2人で、展示替えや休暇の交代勤務など、図書館の方に力を入れてもらっている。問題点としては、美術館としての人員不足という指摘があると予想するが、フォローがあるので特に困っているということではない。ただ、美術館の事業として企画の展示以外に、教育普及を大変重要視していて、例えば、来られた方のギャラリー解説、学校との連携も重要視していきたいと思っている。そういった意味では、動き易い体制があれば望ましいと思っている。教育普及にもっと力を入れたいと思っている。美術館というのは観賞教育の場として、大変利用価値があるので、学校との連携を強めていきたいと思っている。町民の文化・芸術への関心について、今の現状として決して高くはない。個人的な意見として、条例で決まってはいるが、祝日の開館が出来ればいいと思っている。今の展覧会でも交通案内が悪いという意見が出ている。もう少し美術館を町内外にアピールできるように、充実させることが必要だと思っている。出来れば次の後継者を育成することを目的に、若い人材がいればいいと思っている。

委員長

説明があったが、意見はあるか。

委員

よく頑張っていると思う。職員の人数については少し考えなければいけない。

委員長

学校との連携を深めたいということだが、小・中からまとまって美術館に観賞に来るということは度々あるのか。

美術館

度々は無い。学校の方のスケジュールが厳しいようでなかなか来れない現実がある。

委員

最近買われた絵はあるか。

美術館

クレパス画を買っている。1点2点のコレクションではいけないので、ある程度の規模になるぐらいまでこれからも続けて、日南町の美術館の特色あるコレクションのひとつの柱として、据えていければいいと思っている。日南町の美術館では年間多い時で1万を超える入館者を迎えている。年間の展覧会の事業費としては、企画の事業費は450万前後で、入館料差し引きの予算高で、350万ぐらいの企画経費で運用している。他の美術館では1本最低でも300万はかかっている。日南町は年間305万で1年間回しているということで、かなり努力はしている。

